

# 民主主義の多様性

## 第8回 比較政治経済分析

# メニュー

- 公共政策と政治的制約（復習）
- 民主主義の多様性と政治的制約
- 民主主義と政治不信
- 多数決主義とコンセンサス主義
- 政治制度のトレードオフ

# 政治的制約(動画1 5.30)

- 理想的政治状況と非政治的制約
  - 「信頼性」
  - 「合理的期待」
  - 「クラウディング・アウト／クラウディング・イン」
  - 「複数均衡」
- 信頼性・合理的期待
- 政治的リーダーシップ
  - 複数均衡の選択
  - 内部ラグ
- 政治制度への注目
  - 民主主義の多様性

# 民主主義体制

- 民主主義をめぐる論争
  - 民主主義の多義性
- 民主主義と実証研究
  - ある国が民主主義であるか
  - 比較政治学と民主主義研究
  - 民主主義をどのように測定(操作化)するか
- 二つの代表的指標
  - シュンペーター
  - ダール

# シュンペーター

- 『資本主義・社会主義・民主主義』
- 「候補者らが選挙によって獲得した主導権のもとで政治的決定を行うことを可能にする制度的取り決め」
- 「エリート民主主義」とも呼ばれる

# ダールのポリアーキー

- 政府の政策決定についての決定権は、憲法上、選出された公職者に与えられる。
- すべての成人は選挙権、被選挙権を持つ
- 市民は、表現の自由の権利、情報へのアクセス権を持つ。
- 市民は、政党や利益集団などの政治集団を設立し、またそれらに加入する権利を持つ。

# 民主主義指標

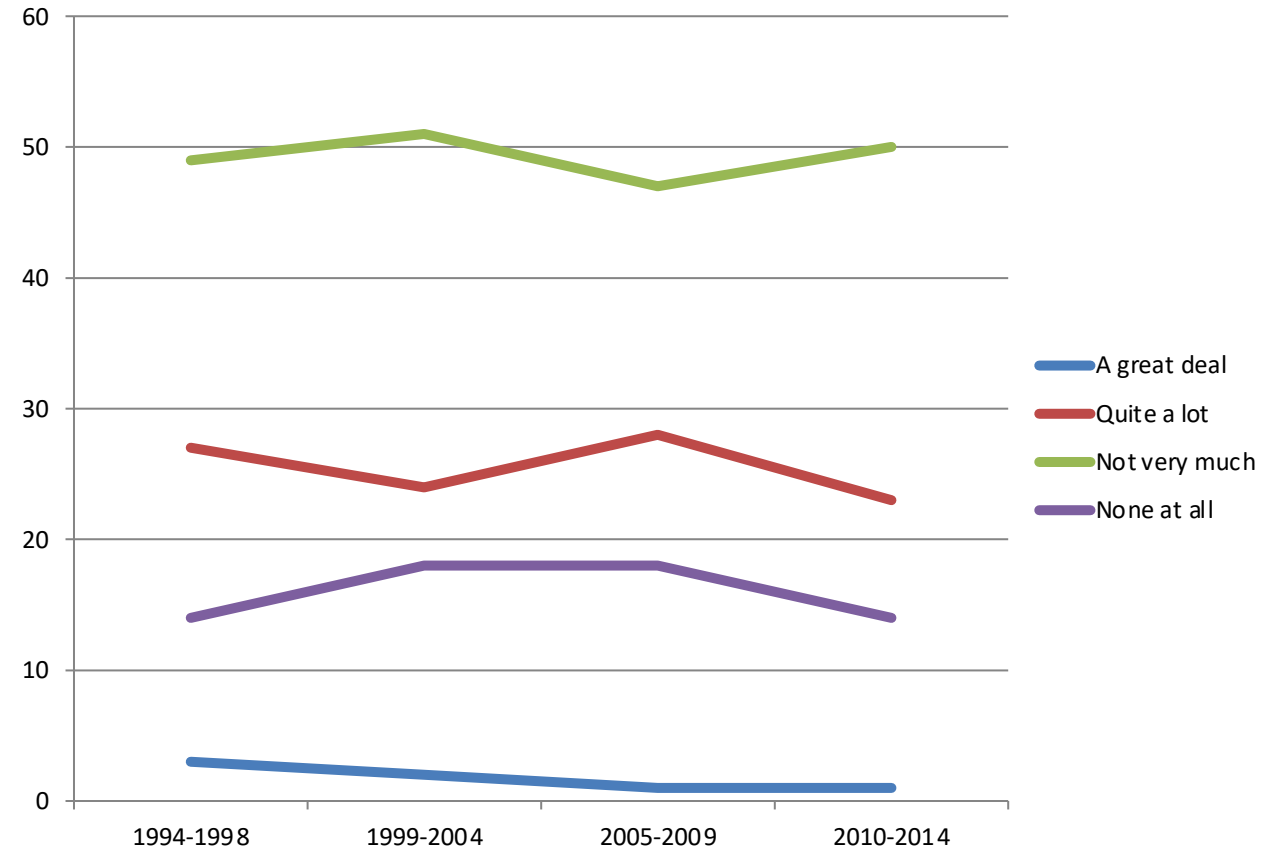
- DD指標
  - Democracy and Dictatorship
  - 2分法
  - シュンペーター的
- Polity指標
  - -10～+10（民主主義・中間体制・独裁）
  - ポリアーキー的（政治参加を含む）
- Freedom House
  - 1～7
  - 汚職の有無など手続き以外の帰結も含む

# 政治不信 ディスカッション

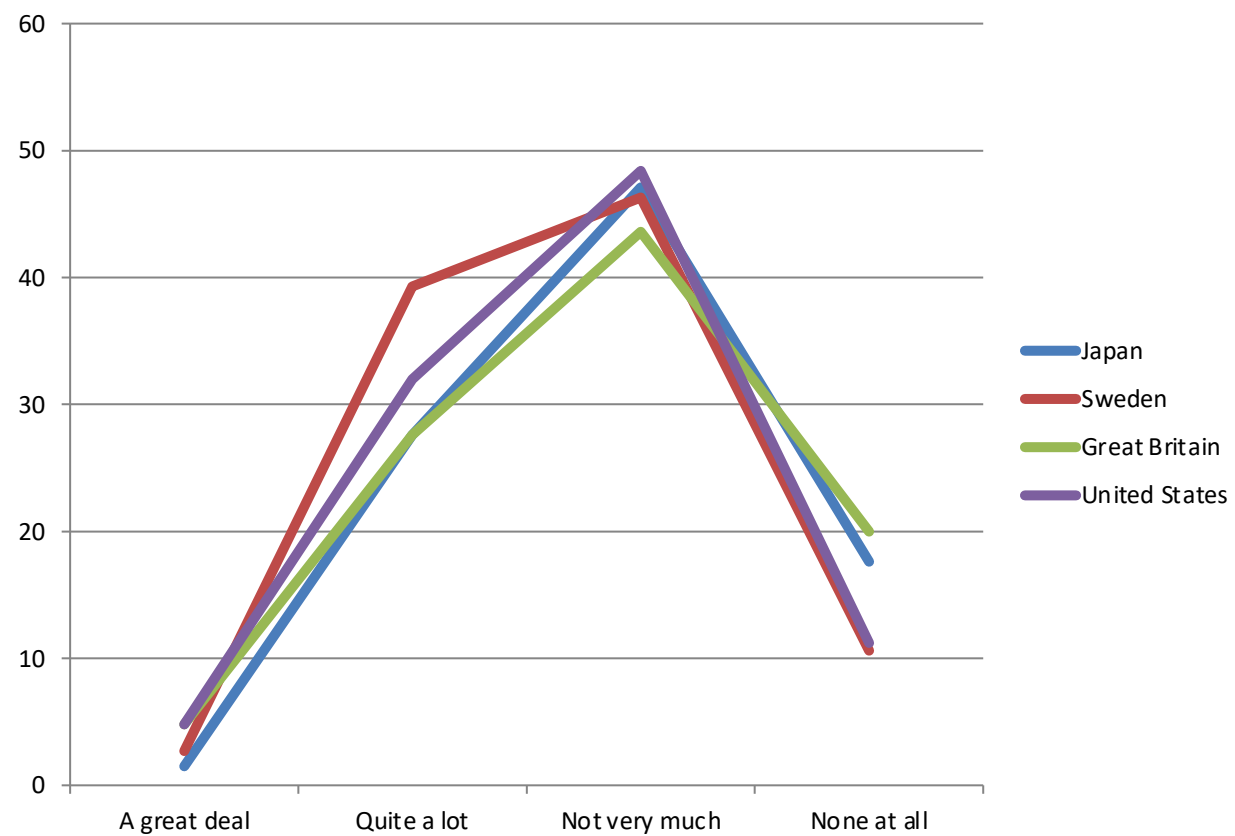
- 財やサービスの供給主体としての政府とセブンイレブン
- 「あなたはセブンイレブンを信頼しますか」
- 「あなたは政府を信頼しますか」
- なぜ政府は不人気か？
- 何故満足できないのか？
- 政府とセブンイレブンの違い？
- 国別の政府への信頼をデータで見よう(動画2 8.20)



# データで見る 政府への信頼 Japan



## 政府への信頼 (World Value Survey 2005-2009)



議会への信頼(2005-2009)

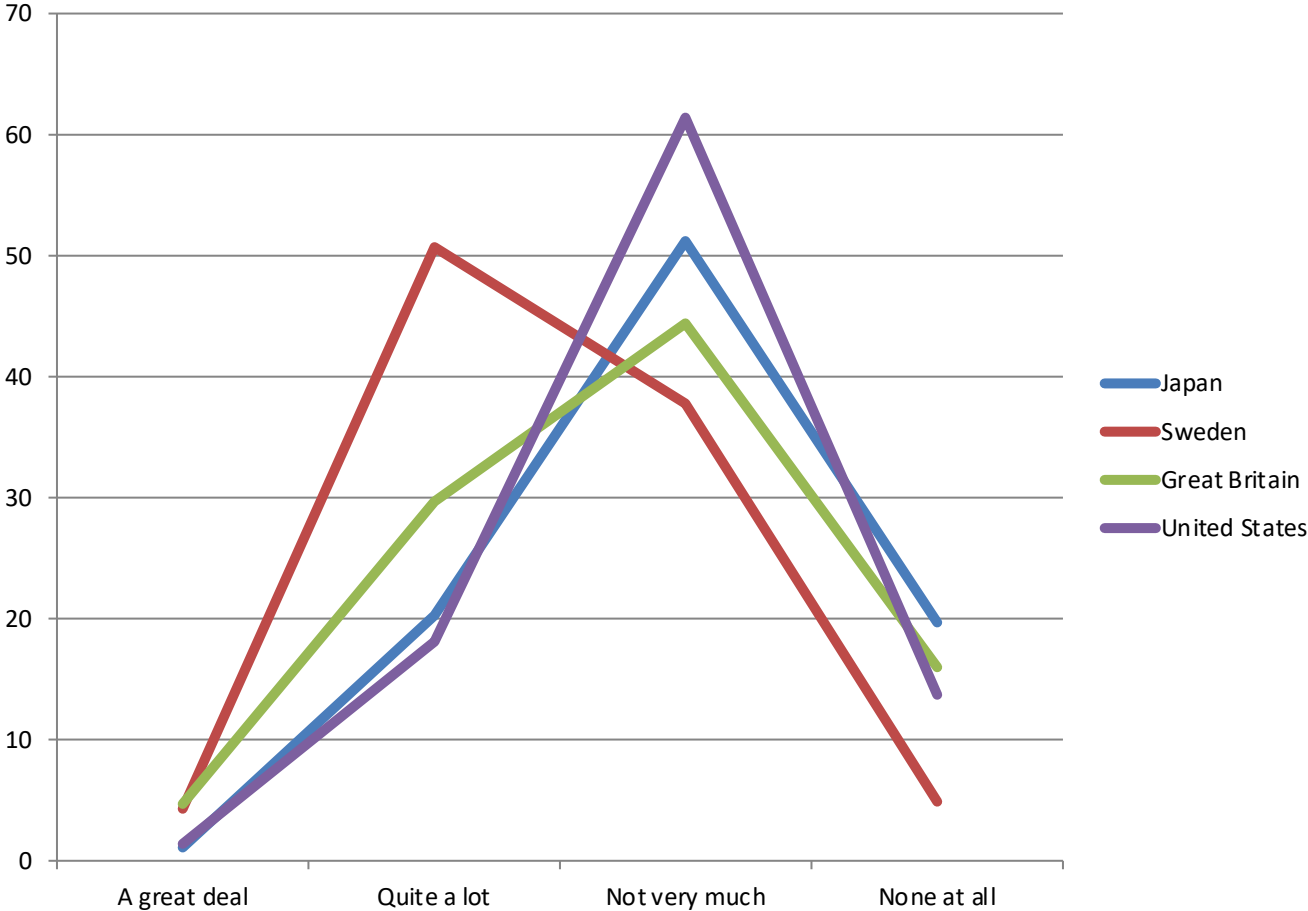
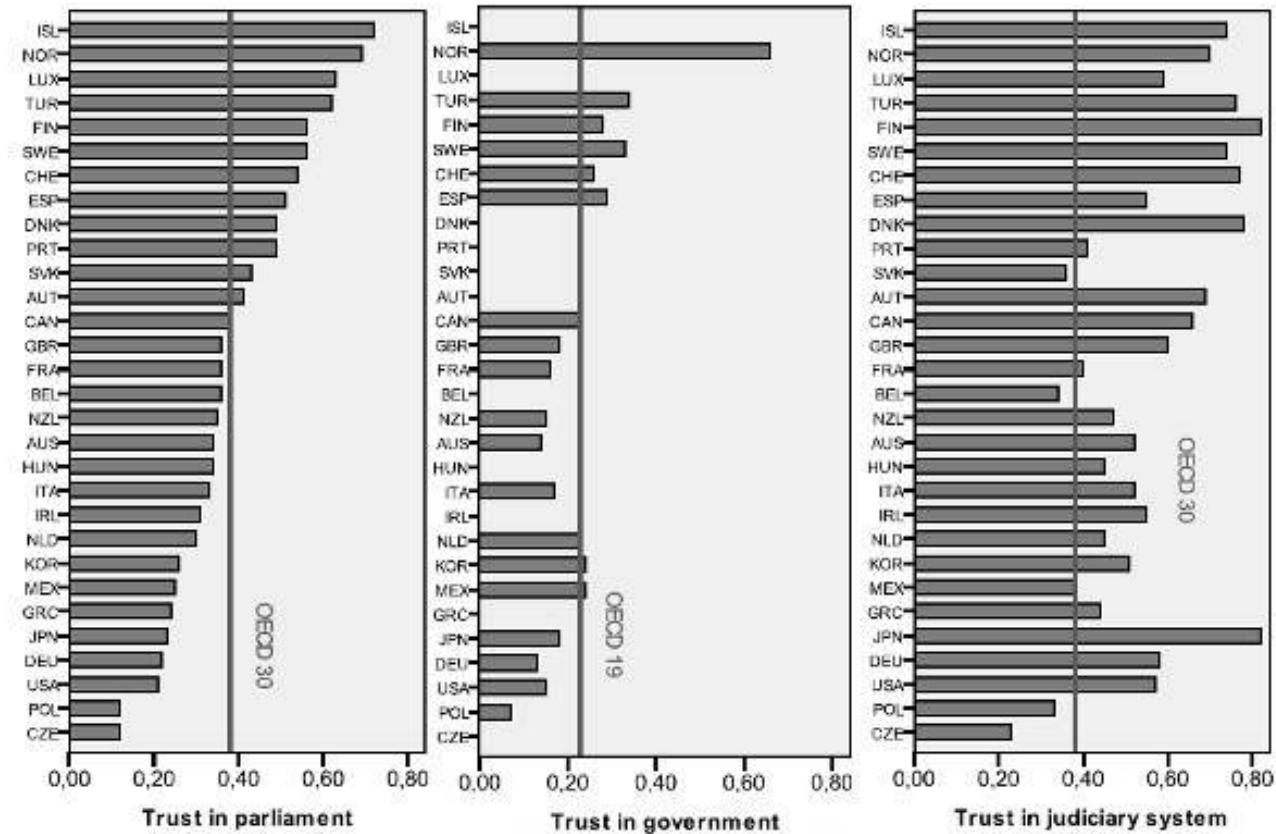


Figure3. Institutional trust in OECD countries. Share of people expressing "high" confidence in each institution



Source: World Value Survey, wave 2005-2008.

### 13.3. Trust in government, the civil service, the parliament and the police, 2018



# ディスカッション

## 何が国別の違いを生むのか

- 何故、政府への信頼と議会への信頼の国別パターンに差があるか？

# 1次元政策空間での社会的決定

## 動画3 4.51

- 20% 原発即時廃止
- 20% 10年後廃止
- 20% 30年後廃止
- 20% 30%で維持
- 20% 原発推進

# 民主主義の多様性

- 多様な民意を如何に政策決定へ反映させるか？
- 議会への信頼と政府への信頼の差
- 議会のあり方の多様性
- 民主主義体制における政党制
  - 二大政党制・多党制・一党優位制
- 多数決型民主主義とコンセンサス型民主主義



# 民意を代表する政党の数

- 政党数をどのように数えるか?
- 有効政党数  $1/\sum P_i^2$ 
  - $P_i$  議席比率 or 得票率
  - $1/0.33^2 + 0.33^2 + 0.33^2 = 3$
  - $1/0.45^2 + 0.45^2 + 0.10^2 = 2.4$
- 政党の数を決める要因 社会的亀裂と選挙制度

# 選挙制度の多様性

- 選挙制度と政党制
- デュベルジェの法則
  - 小選挙区制 二大政党制
  - 比例代表制 多党制
  - 選挙区定数が $M$ の時、 $M+1$ の政党が生き残る
  - $M+1$  の法則（スティーブン・リード）
  - 選挙区レベル

# 小選挙区制と比例代表制 イメージ

	平均支持率	小選挙区制議席	比例代表制議席
自民	40%	60	40
民進	30%	40	30
公明	20%	0	20
共産	10%	0	10

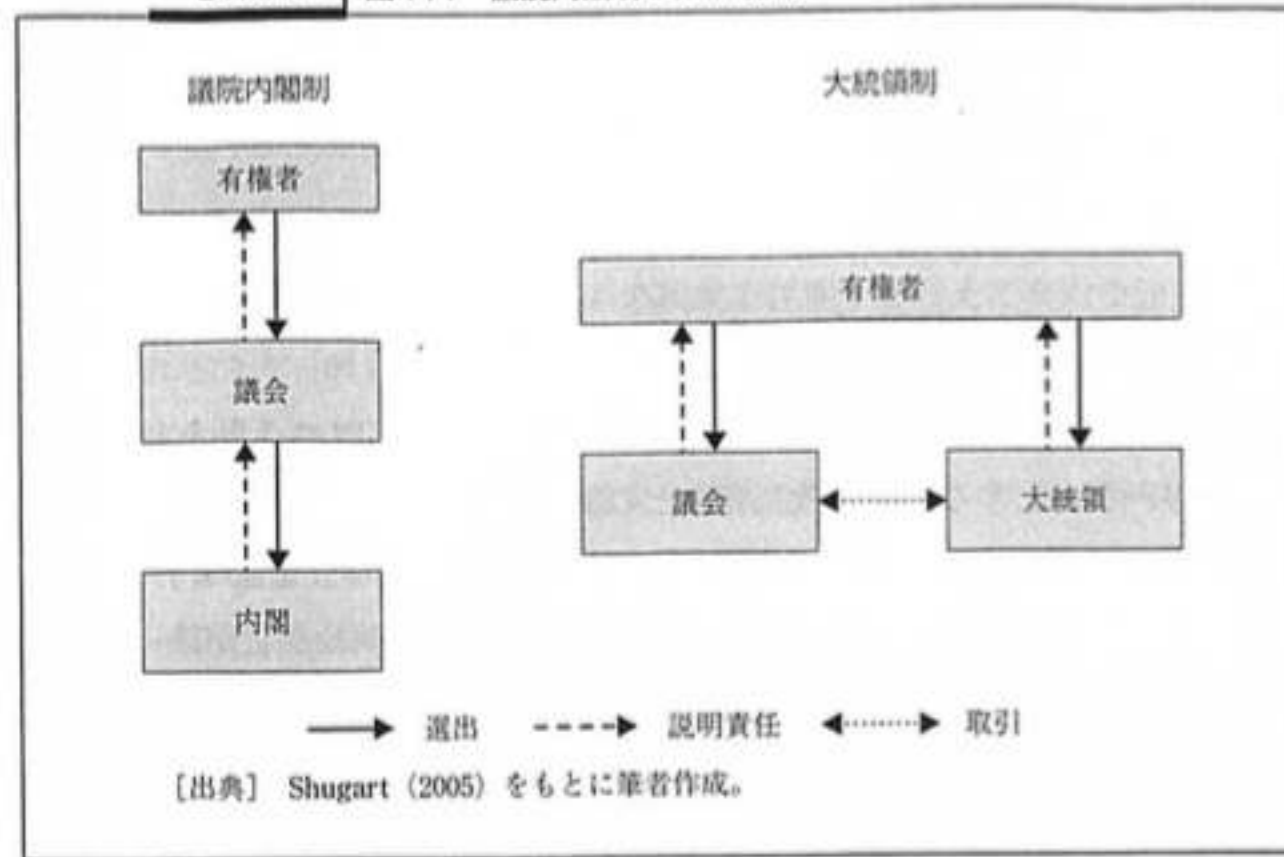
小選挙区制度  
機械的効果  
心理的効果

# 議会と執政府の関係

- 究極の本人： 国民
- 代理人： 議会
- 議会と執政府の関係
- 大統領制と議院内閣制
- 本人代理人関係の違い
- 議院内閣制 立法府と執政府の融合
- 大統領制 立法府と執政府の均衡
  - 大統領の選出基盤と議員の選出基盤

CHART

図 7.1 議院内閣制と大統領制



# 議会・選挙制度・政治決定

- 効率的政治決定 多数決主義
  - 小選挙区制
  - 人工的多数派
  - 議院内閣制 権力の融合
- 合意形成・コンセンサスに基づく政治決定
  - 比例代表制
  - 民意を反映する議会構成〈代表性〉
  - 大統領制 抑制と均衡

# ウェストミンスター・モデル

- 国民の負託 Mandate
- 小選挙区制
  - 人工的多数派
- アリオン型議会
  - 多数派による決定
- 議院内閣制
  - 立法府と執政府の融合
- 単線的本人代理人関係

# 多極共存型民主主義

- 対極としての多極共存型民主主義(レイプハルト)
- 民族・宗教・言語の多様性の統合
  - ベルギー、オランダ、スイス
- 比例代表制と連立政権
- 2種類の民主主義
- 多数決型とコンセンサス型



## Patterns of Democracy (Lijphart)

	制度	多数決型	コンセンサス型
権力共有	選挙制度	小選挙区制	比例代表制
	政党システム	二大政党制	多党制
	内閣制度	単独内閣	連立内閣
	執政府・議会関係	執政府の優越	均衡
	利益媒介制度	多元主義	コーポラティズム
権力分割	中央地方関係	単一性	連邦制
	議会構造	一院制	二院制
	憲法改正	軟性憲法	硬性憲法
	違憲審査	なし	あり
	中央銀行	政府依存	独立

# 政治制度のトレードオフ

- 多数決型とコンセンサス型
- 政治決定の効率性と代表性
  - 政策革新リーダーシップ
  - 信頼性
- 分割政府とねじれ現象
  - 信頼性

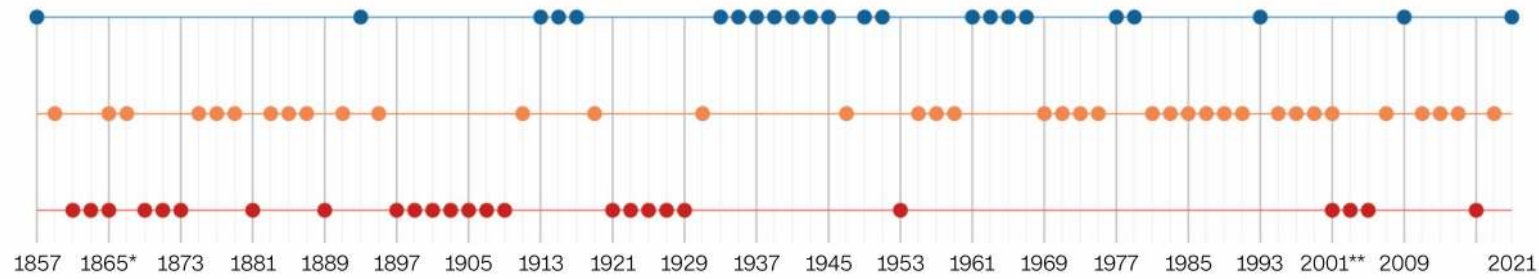
# 政治制度と政策

- 統一政府と分割政府
  - 分割政府は政策の停滞を招くのか?
  - アメリカにおけるねじれ現象と重要政策決定 (Glazer & Rosenberg)
  - James M. Curry and Frances E. Lee, The Limits of Party: Congress and Lawmaking in a Polarized Era, University of Chicago Press, 2020
  - データ解釈の難しさ(内生性)

## Unified government has become less common in recent decades

Each dot represents one meeting of Congress, a two-year period between each election. Unified control means a single party has the presidency, a majority in the House of Representatives, and a majority in the Senate. Of the last 22 Congresses, 15 have been under divided government.

Government unified under **Democrats**, **Republicans** or **divided**



\*In 1865-1867, the government went from unified to divided after Abraham Lincoln was replaced by Vice President Andrew Johnson, a Democrat.

\*\*From 2001-2003, control of the US Senate changed hands several times in the 107th Congress.

Source: US Government, Office of the Historian

Graphic: Will Mullery, CNN

<https://edition.cnn.com/2022/11/17/politics/midterm-election-divided-government-what-matters/index.html>

表 5-1 分割政府と統一政府のもとでの重要な法律  
制定、1947—1990 年(議会会期あたりの法律制定数)

大統領(年)	分割政府	統一政府
トルーマン(1947-48)	10	
トルーマン(1949-50)		12
トルーマン(1951-52)		6
アイゼンハワー(1953-54)		9
アイゼンハワー(1955-56)	6	
アイゼンハワー(1957-58)	11	
アイゼンハワー(1959-60)	5	
ケネディ(1961-62)		15
ケネディ/ジョンソン(1963-64)		13
ジョンソン(1965-66)		22
ジョンソン(1967-68)		16
ニクソン(1969-70)	22	
ニクソン(1971-72)	16	
ニクソン/フォード(1973-74)	22	
フォード(1975-76)	14	
カーター(1977-78)		12
カーター(1979-80)		6
レーガン(1981-82)	9	
レーガン(1983-84)	7	
レーガン(1985-86)	9	
レーガン(1987-88)	12	
ブッシュ(1989-90)	9	
平均	13.0	12.8

出典) Mayhew 1991.

グレーザー&ローゼンバーグ  
「成功する政府  
失敗する英府」215頁